

心と心、笑顔のリレー



今号の表紙

迫力満点!  
黒部ダム観光放水

6月から10月に行われる観光放水。  
毎秒10トン以上からなる豪快な  
水のアーチと、巻き上がる水煙、美  
しく架かる虹が人々を魅了する。



開設から1年半

早期の機能回復と患者さんの満足度の向上を目指して

# 人工関節センターの取り組み

当院で精度の高い細胞診検査を受けませんか?

## 最新がん細胞診検査機器を 県内初導入

新連載

## 井上院長の ティータイム



新企画

## Dr.の休日

堀江幸男副院長  
(脳神経外科部長)



社会福祉法人 富山県済生会支部  
富山県済生会

富山県済生会富山病院  
<http://www.saiseikai-toyama.jp/>

〒931-8533 富山市楠木33番地1  
TEL 076(437)1111 FAX 076(437)1122  
地域医療連携室  
TEL 076(437)1120 FAX 076(437)1131



# 人工関節 センターの 取り組み

整形外科主任部長・人工関節センター部長  
藤井 秀人

済生会富山病院は、市内の中では病院の規模は大きくないものの、これまで蓄積してきた人工関節手術の経験と

## ① 院内で看護師、リハビリ部門、事務部門を含めた人工関節チーム医療

(のちに説明するRapid Recovery Program〈ラピッドリカバリープログラム〉)

## ② 先進医療〔実物大臓器立体モデルによる手術支援〕

を2本の柱として、平成25年9月に富山県内で初めての人工関節センターを開設し、約1年半が経過しました。



多職種による人工関節チーム

## ① Rapid recovery program (RRP)

ラピッドリカバリープログラムとは、人工関節手術を受けられる患者さんの早期回復のためのトータルプログラムです。充実した情報提供と運動プログラムで、患者さんがより早く日常生活に戻ることをお手伝いします。

当院では写真で示す院内の多職種で人工関節チームを構成しています。入院前から2、3回通院をしていたいただき、外来看護師による入院前後の詳細な説明、リハビリテーション科でのホームプログラムの指導と住宅状況の把握、医事課入院係から高額療養費制度などの説明を行います。そのため、入院時にはスタッフが、ある程度患者さんの状態を把握しており、患者さん自身も手術に対する心の準備、体の準備、退院後の住宅環境を改善する準備が進んでいます。このような状態で手術を受けていただくことで、術後のリハビリが順調に進んで早期の機能回復（入院期間の短縮）と患者さんの満足度の向上を目指しています。

実際に人工膝関節置換術における術後在院日数は、RRP導入前では平均25日であったものが、最近では平均20日に短縮してきており、早期の機能回復が得られてきています。アンケート調査でも患者満足度が向上している結果が得られています。

## ② 先進医療（実物大臓器立体モデルによる手術支援）（人工膝関節置換術のみ）

近年技術の進歩により、CTスキャンなどで得られた断層画像を立体的に再構築することが可能となり、この技術をもとに患者さん固有の骨軟骨を再現した立体モデルが作成できるようになりました（いま流行りの3Dプリンターのようなもの）。この技術を応用して術前にパソコン上で骨切り角度、骨切り量を計算し、それに合わせた骨切りジグ（固定させる器具）を作成しておいて、手術中に患者さんの骨軟骨面にジグをフィットさせることにより、より正確な骨切りを実現させるシステム（以後商品名であるSignatureと表現します）が平成24年9月に人工関節会社より発売されました。当院では富山県内では最も早い平成24年10月からSignatureを導入し、厚生労働省に申請をして25年7月より先進医療として適用しています。



## 患者さんからの声

今まで四苦八苦していた動作が、リハビリの指導のおかげで上手にできるようになった。



常に対応してもらい、不安な気持ちがなくなりました。安心して入院生活が送れました。



センター開設前の平成24年の手術件数は、人工膝関節（TKA）が32件、人工股関節（THA）が17件の計49件でした。開設後の平成26年はTKA79件、THA30件の計109件となりました。患者さんの来院状況を見ますと富山市以外の各地から来院される方も増えてきました。しかしやはり一番増えたと思うのは、病院近隣の方々だと思えます。そういう意味で、近隣のご開業の先生方には本当に感謝しております。

治らない病気と  
言われたら、  
最期はどこで  
過ごしたいですか？

## 連携室 VOICE

患者さんに住み慣れた地域で安心した生活を送って頂くためには、病院と地域の関係機関とが良い関係を築き、一緒に患者さんをサポートしていくことが大切だと考えています。

当院では、地域包括支援センターやケアマネージャーなどの関係機関の方々と、意見交換や情報共有を目的に、年3回「担当者交流会」を行っています。今回は、「治らない病気と言われたら、最期はどこで過ごしたいですか？」というテーマについて、ワールドカフェ方式で意見交換を行いました。

普段は患者さんをサポートする側の私たちですが、実際に自分だったら…と考えると、色々な思いや考えが出てきて、最後にはたくさんの気づきがありました。この日皆で共有した意見を、今後の患者さんの支援に役立てていきたいと思えます！



# 当院で精度の高い 細胞診検査を 受けませんか？

細胞診検査  
とは…？

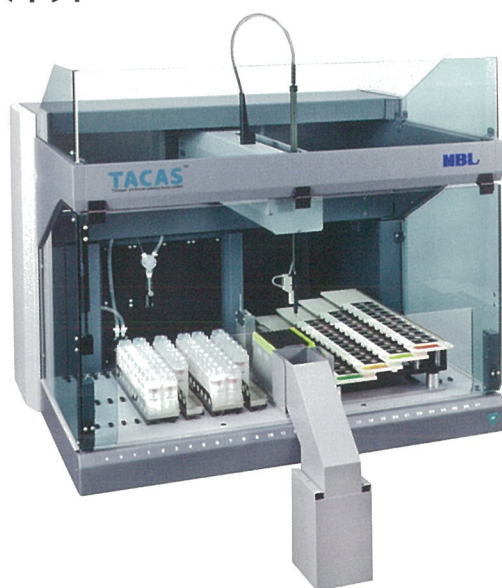
がん細胞をみつけたす  
検査のことです。

## 最新がん細胞診検査機器を県内初導入

病理検査科 主任 田近 洋介

### 最新機器導入

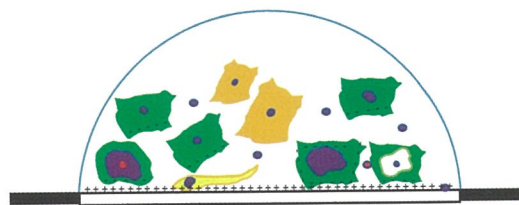
日本の死因1位は依然、がんであり健診は非常に大きな役割を果たします。当院は日本臨床細胞学会認定施設、同教育研修施設、日本病理学会研修登録施設であり、細胞診検査には細胞診専門医2名(内FIAC1名)、細胞検査士、国際細胞検査士2名(内CMIAC1名)が細胞診断業務に従事しています。さらに、平成27年4月より、最新法である液状化検体細胞診(liquid based cytology;LBC)法(以下LBC法)を導入し、自動液状細胞診標本作製装置TACASを設置いたしました。県内初導入で、関西・中部地区でも2台目と言う最新の高度先進医療装置です。



### LBC法のがん細胞検出原理

検診や検査において各臓器より得られた検体は、液状化され細胞浮遊液となります。従来法では採取された細胞の数パーセントしか回収されませんでした。LBC法では100%回収されます。まず、この浮遊液をスライドガラスに滴下させます。液中の各細胞成分は重力によって比重の重い細胞から先に沈下します。この時、がん細胞は最も比重が重く先に沈降し標本となるため、がん細胞を多く含んだ標本作製が可能となります。また、細胞の荷電により重積の少ない均層標本ができ、がん細胞以外の細胞は洗い流され、不適標本を減らし、初期の微小・少量のがん細胞の発見が確実に出来るようになり、同時に細胞診とHPV-DNA検査ができるようになりました。

塗沫時溶液内イメージ図



撥水加工ガラス及びTACAS™オリジナルコーティングによる  
電荷(+)と細胞電荷(-)による細胞塗沫

日本の細胞診断技術は世界トップクラスであり、がんの検出率も高率で精度の高い検査ですが、LBC法はさらにがんの検出率を向上させる事が報告されております。あってはならないがんの見逃しや誤診リスクを最大限減少させるため、健診や検査をするのであれば当院でLBC法による精度の高いがん検診、精密検査を受診されることをお勧めいたします。

お問い合わせ先

済生会富山病院健康管理センター

☎076-437-1133 (平日14:00~17:00)

今号から新連載「Dr.の休日」が始まります。  
日頃、診察室で出会うDr.とは、また違った一面が見られますよ!  
第1回は堀江幸男副院長(脳神経外科部長)です。



晴れた休みの日。朝食もそそくさに、サイクリングウェアに着替え、サングラスとヘルメットを身につけ自宅を出ます。行き先や走行距離はその日の気分と調子次第。時にはサイクリングイベントにも参加します。ロードバイクに乗りはじめてから5年目、自分の力で風を切って進む爽快感と得られる達成感に取り憑かれています。

# Dr.の休日



副院長  
脳神経外科部長  
堀江幸男

## 看護支援外来

### 第8回 健康講座

参加無料

## 「肺を大切にしてお元気に過ごそう」

タバコと肺の病気の関係について学びましょう!!

〈日時〉 8月26日(水) 11時~11時40分 〈場所〉 済生会富山病院2階 会議室にて

〈講師〉 慢性呼吸器疾患看護認定看護師 前川 典子

「呼吸器疾患の予防」  
出前講座をします。  
詳細は看護支援外来まで  
お尋ねください。

どなたでもご自由にご参加ください!

次回開催予定

## インフルエンザ について

11月25日(水)開催予定です

## 看護支援外来窓口近日オープンします!!

CLINIC DATA



# たかはた整形外科 クリニック

〒931-8325 富山市城川原2-16-1

TEL : 076-426-0750

〈診察時間〉 9:00~13:00

15:00~18:30

〈休診日〉 日曜・祝日・木土曜午後



当院は、ライトレール「城川原駅」すぐ近くにありまます。腰痛、首、肩、膝の痛みや外傷など整形外科疾患の治療を行っています。一昨年にMRI検査を導入し、診断能力が向上しました。的確な診断を行い、済生会富山病院をはじめ市内の基幹病院と連携しながら、患者さんに最良の治療を提供できるように今後も努力していきたいと思ひます。

## たかはた整形外科 クリニック

院長 高畑 剛



診 療 所  
た よ り



井上院長の

## ティータイム

新幹線フイバーも下火になったようですが、東京への往復が

ずいぶん便利になりました。ほくほく線経由で特急「はくたか」と上越新幹線を利用していた頃に比べると、「かがやき」では90分ほど所要時間が短縮しました。新幹線の「はくたか」でも60分ほど短縮していますが、「かがやき」に乗り慣れると「はくたか」の遅さが我慢できなくなりまます。我々の価値観は相対的なものなのです。一方、西行きは少々不便になりました。「サンダーバード」や「しらさぎ」に乗るためには金沢で乗り換えなくてはなりません。出かけるときは元気がありますから苦になりませんが、帰りの金沢での乗り換えでは、接続は悪くないのですが、どっと疲れが出てきます。

井上博 院長プロフィール

昭和24年、愛知県生まれ。暇があれば手当たり次第本を読んでいます。司馬遼太郎さんや塩野七生さんのものをよく読みました。最近、宮城谷昌光さんの中国古代の小説が気に入っています。



4月4日、初めて乗った北陸新幹線



## 当院にご紹介いただく先生方へ……

地域医療連携室では、ご紹介頂く患者さんの診察予約、検査予約を行っております。予約を行うことで、診療手続きが簡素化され、速やかな診察が可能となります。

### 診察予約の流れ

- 1 地域医療連携室へお電話ください。**  
(直接、診察申込書をFAXしていただいても結構です。)
- 2 地域医療連携室で直接予約をお取りします。**  
※地域医療連携室で判断ができない場合は担当医師に確認が必要なため、相談の上、予約させていただきます。
- 3 診察申込書をFAXください。**  
確認、登録の上、予約票をFAXいたしますので、患者さんへお渡しく下さい。

### 検査予約の流れ

- 1 地域医療連携室へお電話ください。**
- 2 地域医療連携室で直接予約をお取りします。**
- 3 診察申込書をFAXください。**  
確認、登録の上、予約票をFAXいたしますので、患者さんへお渡しく下さい。

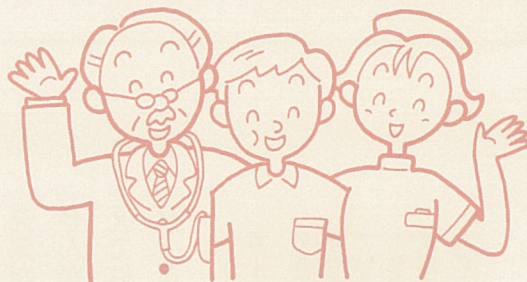
#### 検査予約時間

##### CT MRI

月～金 10:00～11:30 14:00～16:00  
※造影ありの検査はAMのみの予約となります。

##### 心臓CT

月 14:30～15:30  
水 14:30～15:30  
金 14:30～15:30



## 富山県済生会富山病院 地域医療連携室

〒931-8533 富山市楠木33番地1 TEL 076-437-1120(直通) FAX 076-437-1131(直通)

## 理念 患者さん本位の心温まるすぐれた医療の提供

### 基本方針

1. 地域中核病院として、地域に密着した信頼される患者さん本位の医療の提供に努めます。
2. 済生会精神に基づく保健・医療・福祉の総合的なサービスを目指します。
3. 医療水準の向上に努め、良質で安全な医療を提供します。
4. 患者さんの権利を尊重し、心温まる医療の提供に努めます。
5. 効率的で安定した経営基盤の確立に努めます。

### 患者さんの権利宣言

本院では“患者さん本位の心温まるすぐれた医療の提供”を基本理念に、患者の皆さまと協同して最良の医療を提供できるよう以下の権利を尊重します。

1. 個人としてその人格を尊重される権利
2. 質の高い医療を公平に受ける権利
3. 十分な情報を知り、説明を受ける権利
4. 選択の自由と自己決定する権利
5. プライバシーが守られる権利